

大分県立病院で ST 上昇型急性心筋梗塞と診断され  
緊急カテーテル治療を受けられた患者様、またはそのご家族の方へ

大分県立病院では令和 7 年 7 月 29 日付けで研究倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施しています。関係各位のご協力とご理解をお願い申し上げます。(承認番号：7-108)

**【対象となる方】**

2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までの期間で、大分県立病院で ST 上昇型心筋梗塞と診断され緊急カテーテル治療を行った患者様。

**【研究テーマ】**

当院における STEMI 患者の DTBT の現状と課題

※ST (医療における心電図検査における所見の一つ)

※STEMI (ST 上昇型心筋梗塞)

※DTBT (door-to-balloon time)

ST 上昇型心筋梗塞の患者様が病院に到着してから冠動脈の閉塞部位を  
バルーンカテーテルで拡張し血流を再開させるまでの時間

**【研究目的・意義】**

ST 上昇型心筋梗塞における DTBT は短縮されるほど、救命率の向上や患者様の生命予後、および QOL 改善につながる事が文献や先行研究でも明らかにされています。そこで緊急カテーテル治療を行った症例について DTBT 平均時間について調査・分析を行い、現状の課題と介入の検討を行うことを目的とします。

**【研究方法】**

診療録および看護記録、看護業務日報など既存の情報を分析します。

(対象となる方に新たにさせていただくことはありません)

**【研究期間】**

承認日 ～ 2026 年 1 月 31 日

**【利用する資料・情報の種類】**

ST 上昇型急性心筋梗塞と診断され緊急カテーテル治療を行った患者様の以下の個人データを電子カルテより調査いたします。

1. 受診日
2. 病院到着時間および、血管造影室への入室時間、救急外来での滞在時間

3.血管造影室入室後、冠血流再灌流時間

4.検査データ（血液検査データ、十二誘導心電図検査、心臓超音波検査など）

**【個人情報の保護の方法】**

- 1) この研究で収集される資料・情報等は個人の氏名がわからないように匿名化します。
- 2) すべての資料・情報は本研究以外の目的で使用しません。
- 3) データ（USB）および資料は鍵のかかる保管庫で管理し、研究終了後5年間保管したあと、復元できない状態で破棄します。電子媒体は適切な方法でデータを消去することで破棄します。
- 4) 研究結果は学会で公表する予定ですが、個人が特定できないようにします。  
この研究の対象者に該当する可能性がある方で研究への協力を希望されない場合、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない方は末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

**【問い合わせ先】**

研究責任者：大分県立病院 看護部 後藤 篤

共同研究者：林 由記、橋本 卓也、末吉 加奈

所属責任者：外来師長 山本 美佐子

住所：〒870-8511 大分県大分市豊饒二丁目8番1号 電話番号：097-546-7111